

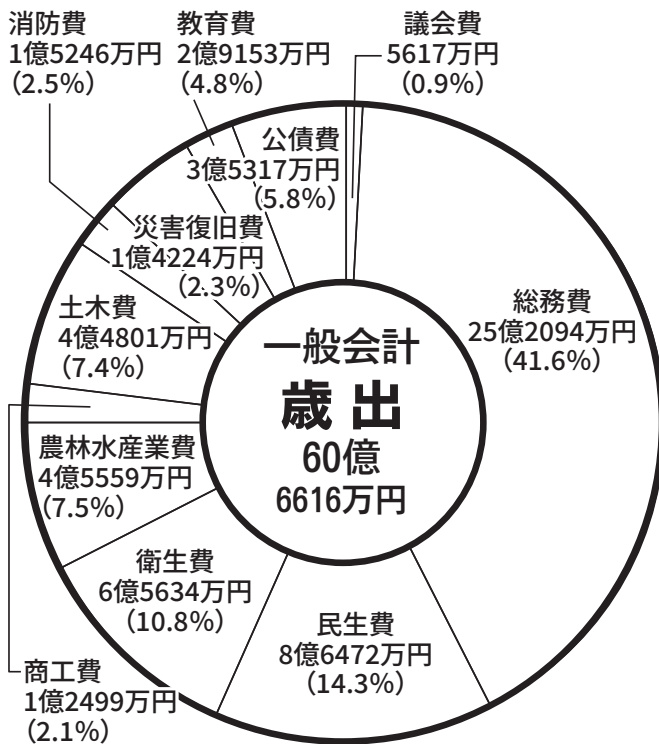
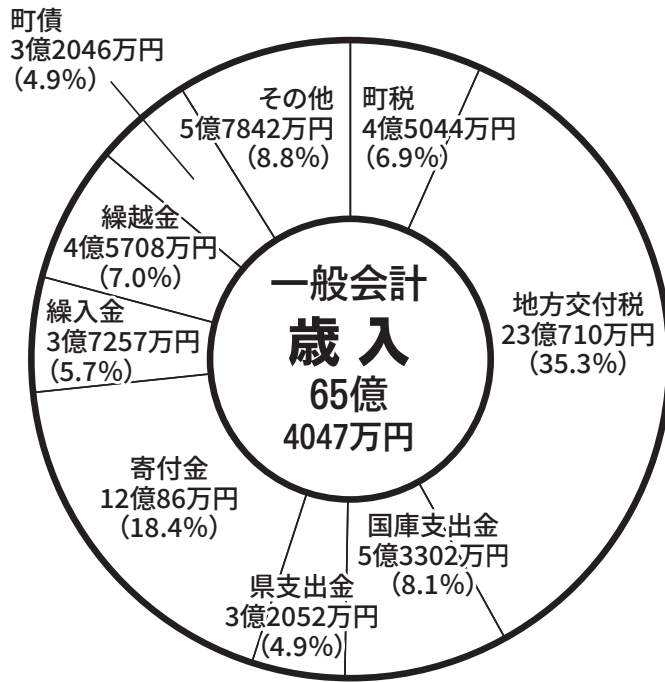


爽やかな秋空のもと、市原小学校5年生
22名が梅木正一さんの田んぼで稲刈りと
掛け干しを体験しました。



令和 6 年度 決算認定

令和7年第3回南小国町議会（定例会）が9月9日に召集され、9月12日までの会期で開かれました。町長から提出のあった主な議案は、令和6年度一般会計歳入歳出決算などの認定案件が6件、令和6年度南小国町健全化比率及び資金不足比率の報告が1件、令和7年度一般会計補正予算などの予算案件が9件、人事案件（固定資産評価委員の任命）が1件あり、それ



●**決算概要**
 歳入から歳出を差し引くと4億7431万円となります。差引額の中に翌年度への繰越財源として9469万円が含まれているので、これを差し引いた3億7962万円が黒字となり、翌年度に繰り越されました。

基金残高

基金名	6年度末残高
財政調整基金	18億8935万円
ふるさと納税基金	14億8882万円
きよらの郷づくり基金	1億5286万円
地域福祉基金	1億2754万円
CATV 放送設備等整備基金	6114万円
一般会計その他基金	9415万円
特別会計基金合計	9243万円
合 計	39億 629万円

町債（借入金）残高

区 分	6年度末残高
公営住宅建設事業債	1973万円
災害復旧事業債	3億1937万円
教育・福祉施設等整備事業債	4286万円
一般単独事業債	1億5453万円
過疎対策事業債	15億4944万円
臨時財政対策債	9億4688万円
一般会計 その他	1726万円
特別会計合計	12億5608万円
合 計	43億 615万円

特別会計決算

特 別 会 計 名	歳 入	歳 出	収 支 額
国民健康保険特別会計	5億4494万円	5億3935万円	559万円
後期高齢者医療特別会計	7859万円	7851万円	8万円
介護保険特別会計	6億9085万円	6億6443万円	2642万円
合 計	13億1438万円	12億8229万円	3209万円

公営企業会計決算

特 別 会 計 名	総収益	総費用	純利益(△純損失)
簡易水道事業会計	1億8959万円	1億8101万円	858万円
下水道事業会計	1億5445万円	2億1500万円	△6055万円

※表示単位未満四捨五入のため、合計や収支額が一致しない場合があります。

こんなことに使われました

令和6年度に実施された主な事業は、次のとおりです。

自然休養村管理センター解体工事（総務費）
1億178万円



旧グループホーム森園購入費（民生費）
2751万円



南小国広報・営業関連委託料（総務費）
1838万円



地域活性化企業人派遣負担金（総務費）
1260万円



スマート窓口推進事業補助金（総務費）
2186万円



定額減税調整給付金（民生費）
2901万円



飼料・燃料費高騰対策補助金（農林水産業費）
3275万円



町民向け商品券発行事業補助金（商工費）
3846万円



ふるさと納税業務委託料（総務費）
4億6596万円



オーバーツーリズムの未然防止・抑制による観光推進事業業務委託（商工費）
3715万円



ICT機器備品購入（教育費）
757万円



防災マップ作製業務委託（消防費）
506万円



農業農村整備事業水路改修工事（農林水産業費）
8103万円



町道改良工事他（土木費）
6616万円



現年度公共土木災害復旧工事（災害復旧費）
4113万円



河川改修（災害関連）工事（災害復旧費）
5668万円



令和7年9月 第3回定例会

令和6年度決算

◆一般会計歳入歳出決算書

◆特別会計歳入歳出決算書 (3会計)

◆公営企業会計決算書 (2会計)

主な審議

○不納欠損について

▼六井秀房議員 現年度の歳入で町民税と固定資産税に不納欠損がある。どういう状況か教えてほしい。

答 法人の滞納があり、差し押さえを行っていたが会社が見込めなくなったことから、やむなく不納欠損処理とした。

○公営住宅使用料

▼森永議員 最低賃金が上昇しているが、家賃の算定に用いる収入の上限を超える方も出てくるのでは。上限の設定を見直す必要があるのではないか。また通常の公営住宅を特定公共賃貸住宅（特賃住宅）に用途変更し、収入の上限を超える方でも入居できるようにできないか。

答 通常の公営住宅は低所得で生活に困っている方向

けで、特賃住宅は一定程度所得がある中堅世帯向けの住宅となっている。町としても家賃収入が増えることは好ましいが、制度上、生活に困窮している方を優先する必要があることから、今後の検討課題としたい。

○奨学資金貸付金

▼佐藤議員 過年度分の84万円が未納となっているが、何名分か。また保証人はどうなっているのか。

答 1名の方が未納となっており、本人とは連絡がとれない状態。保証人2名のうち1名と現在連絡を取り合っている。

○ふるさと納税基金

▼六井秀房議員 景観保全の必要性は町長も認識しておられるところだが、草刈りなどの田畑の維持管理に関する支援策を農林課に訴えたところ「予算がない」と断られた。綺麗な町づくりのため、ふるさと納税基金を活用すべきではないか。

答 ふるさと納税基金を維持管理に充てることは想定していないので、基金の趣旨を確認して判断したい。

○森林環境譲与税について
▼森永議員 新しく家建てる場合、大手メーカーは外国産材を使うことが多いが、また大工も遠方から来ていると聞いている。そこで小国杉の積極的な消費と地域の木工さん活用のため、新築やリフォームで小国杉を使う場合に補助を出してはどうか。

答 使途については林業の一人親方育成やモバイル建築を予定しているが、今回のご提案は小国杉の振興策として今後検討していきたい。

○タクシー利用費助成事業補助金

▼佐藤議員 助成券の上限50枚を使いきった方へ追加発行をお願いしたいと何度も言ってきた。予算も不用額が出ており余裕があるのに、なぜ実現できないのか理由を聞かせてほしい。

答 助成券をあまり使わない方もいるなかで、どのように追加交付するのが適切なのか結論が出ていない。現在、公共交通の在り方について地方創生の伴走支援チームに相談しているところである。

○きのこセンターについて
▼森永議員 9月末で休業とのことだが、特産品として定着していたものが突然無くなるということで飲食店や宿泊業の方は困惑している。休業の周知はしないのか。

答 たしかに町からの周知は何もしていなかった。指定管理者と調整したい。



きのこセンター（湯田）

▼六井秀房議員 きのこセンターは元々試作施設として整備されており、この規模で利益を生むのは至難である。適正規模で特産品の生産を継続できるよう再度検討できないか。

答 特産品の生産施設であることは理解しているが、

これ以上の設備投資は考えていない。施設に興味がある事業者もいるそうなので、今後の在り方を考えていきたい。

○オーバートーリズムの未然防止・抑制による観光推進事業業務委託

▼佐藤議員 黒川温泉の駐車場と日帰り入浴の混雑状況の可視化ということだが、駐車場の状況は観光協会のホームページ、入浴の状況は旅館組合のホームページからしか見られない。なぜ観光客目線で一度に両方とも見られるようにしなかったのか。

答 施設の管理上の都合で分けて作成した。一元化できると受託者と協議していきたい。

○簡易水道の水源について

▼佐藤議員 北海道のニセコ町では水源が外国資本に買収されているという情報もある。本町の水源は全て町有地か。

答 町内に水源は9か所あり、そのうち3か所が民有地となっている。また現在、市原地区内の町有地において新たな水源を整備している。

監査意見書（抜粋）

代表監査委員 石橋 正寿

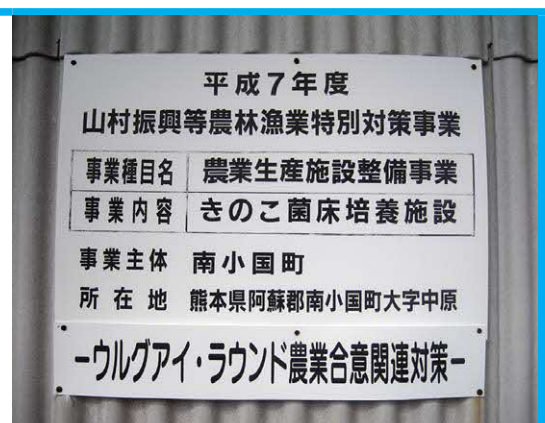
議選監査委員 井野 和哉

- ① 財政健全化審査については、実質赤字比率・連結実質赤字比率・将来負担比率は「0」、実質公債費比率も「7.5%」であり、本町の財政状況は健全と判断できる。ただし財政力指数・経常収支比率・実質公債費比率ともに昨年度から上昇しており、とくに経常収支比率が高く、財政構造に余裕がなくなっている。引き続き財務状況を分析し、健全な財政が維持できるよう適正な運用を行っていただきたい。
- ② 町税や保険料・使用料及び負担金等の徴収については、依然として過年度分（滞納繰越分）の徴収率が低い傾向にある。悪質な滞納者については法的措置をとるなど、徴収業務の更なる強化と担当課・局間の連携に期待する。一方でコンビニ・スマホ納付の導入により納付者の利便性が格段に向上したと思われる。町の費用負担も大きい、納付の選択肢が増えることは住民サービスの向上にもつながっていることから、今後も新たな納付方法を模索していただきたい。
- ③ 例年、歳出に多額の不用額が発生している科目が見受けられる。限られた財源を有効活用するためにも、履行が困難となった事業や金額が確定した事業など早めの対応が可能なものは、年度途中で減額補正するなど適切な処理を望む。
- ④ 伝票監査においては、請求書に記載される業務内容や購入内容が簡略化されたものや決裁印の漏れが見受けられた。数量や算出根拠など、第三者が見ても分かるよう明細等の記載をお願いしたい。また決裁者によるチェック体制を徹底し、事務処理ミスの未然防止に努めてもらいたい。
- ⑤ 高齢化や人口減少、インフラ施設の老朽化、災害の激甚化など町が抱える問題は多岐にわたり、行政の役割もますます高度化・複雑化することが予想される。今後も職員の育成やAIの導入等による負担軽減並びに効率化に向けた対策を推進し、町民がより幸せに暮らせる南小国町になることを期待する。

きのこセンターの休業について

約30年に渡り特産品の「まいたけ」を生産してまいりました大字中原湯田の「きのこ菌床培養施設（通称きのこセンター）」が、施設の老朽化に伴い令和7年9月末日をもって休業しました。

なお今後の利活用については、再利用や施設の解体も含めた協議を進めていく予定です。



令和7年度9月補正予算

5億1334万円を可決

	9月補正額	補正後予算額
一般会計	3億5673万円	62億1428万円
国保特別会計	△172万円	5億5952万円
後期高齢特別会計	25万円	9100万円
介護保険特別会計	2648万円	7億3007万円
簡易水道事業会計		
収益的収入	193万円	1億6057万円
収益的支出	85万円	1億6554万円
資本的収入	4400万円	3億303万円
資本的支出	7528万円	3億8769万円
下水道事業会計		
収益的収入	670万円	2億3473万円
収益的支出	221万円	2億4106万円
資本的支出	63万円	1億1645万円

* 万円未満四捨五入

主な補正予算（一般会計）

(万円)

町有林素材生産委託料	1190
財政調整基金積立金	9171
高齢者施設等物価高騰対策補助金	239
世代交代・初期投資促進事業補助金	900
持続的観光地域経営のための財源確保に向けた検討業務委託	628
町道改良工事測量設計委託	5300
道路メンテナンス事業	2800

●一般会計補正予算（第5号）

主な審議

○持続的観光地域経営のための税源確保に向けた検討業務委託

▼森永議員 宿泊税の導入を検討することだが、委託先やスケジュール及びメンバーは。

【答】 令和6年度に観光基本計画策定を委託したDHEに委託を予定している。ス

ケジュールは大体1年から1年半で、メンバーは学識経験者や町内の各種団体の代表者を想定している。

○高齢者施設賄材料支給▼穴井則之議員 支給の内容容は。

【答】 高齢者施設ではこれまで安心安全な小国郷産の米を購入してきたが、物価高騰により従来の金額では購入できなくなり大変困っているとの相談を受けたこと

から、2施設に米40俵（半年分）を現物支給することとした。

○基金運用について▼井野議員 財政調整基金とふるさと納税基金については一部債券購入による運用を始めており、定期預金以上の運用益を得ているが、今後の基金運用についてはどう考えているか。

【答】 債券運用については安全性・流動性・効率性が重

要であることから、「運用期間がおおむね7年以内で基金の30%以内」とする債券運用基準要綱を制定した。

○母子保健事業委託料

▼森永議員 医療相談アプリの導入とのことだが、具体的な内容は。

【答】 文字によるやり取りになるが、56の診療科の医師への相談に対応しており、妊婦や子どもだけではなく家族の相談も可能とのこと。多言語にも対応している。

▼佐藤議員 利用者負担が発生するのか。またいつから運用するのか教えてほしい。

【答】 利用者負担はなく、全額町負担となっている。予算通過後早めの周知と運用を行っていきたいと考えている。

○マンホールトイレ購入費▼後藤議員 設置する場所と数は。

【答】 宅地の公共外や道路のマンホールに設置するタイプであり、28基の購入を考えている。公共下水道区域及び農業集落排水区域の公共施設に設置する予定。

○世代交代・初期投資促進事業補助金

▼穴井秀房議員 役場に就農の相談にいられた方にしかこの補助金があることを知らされていない。もっと広く周知すべきではないのか。

【答】 相談しやすい環境づくりを進め、ホームページ等で周知していきたいと考えている。

○町立保育園のあり方検討委員会

▼井野議員 委員会の目的と委員の編成、今後のスケジュールは。

【答】 保育園全体のさまざまな課題を検討し、町長へ答申していく諮問機関を考えている。委員は地域の方や保護者、議会、役場関係課局等であり、今回は中原保育園の今後について検討していく。来年3月末を目標に方向性を見出す予定。

●人事

◆固定資産評価審査委員会委員の任命

中原 佐藤 亨 氏

同意



佐藤 毅 議員

Q 住民の意思を取入れた施策づくりを

A 多様な視点から事業実現できる体制づくりに努める

問 お出かけ知事室みたいなことはできないか。

町長 座談会を11月下旬に予定している。

問 町長への意見箱やメッセージが直接届くシステムを考えては。

町長 すぐに対応は可能。地域のイベント等開催時にお声がけをしていたきたい。出向く。

問 各課局の更なる連携強化の目的で、審議員、係長クラスでの会議を行ってはどうか。

総務課長 情報共有の場として検討していく。

問 新規事業や新年度予算について、もっと議員議会も関わり、責任を果たす必要がある。

町長 事前に常任委員会等で議論ができれば良い。

議長 執行と議会で議論し合うことは大事かと思う。

問 予算査定で見送りとなった事業を再度協議する場や情報の共有が必要では。

総務課長 一覧データとして提供は可能。



課局長会議



9月5日 お出かけ知事室



穴井 秀房 議員

Q 先に質問した移住定住希望者の住宅及び住宅用地はどうなっている？

A 先月から課題の検討を行い、今後の方向性を議論している

問 3月議会で質問した表題の件についてはどうなっているか。まだ検討とか等の事しか出ていないだろうとは考えるが、希望者がいるのに住宅問題で移住者の取りこぼしをする状況は良くない。早期にやると回答しても一向に進まない、町長が重要案件と考える施策についてスピード感を大切にしてもらいたい。

また町長は、住宅問題は民間に任せたい気持ちであるが、賃貸住宅の建設には現在町から1部屋上限

りた。

百万円の補助を行っているが、賃貸料金は大変高く移住者にはハードルが高いと思える。

人口問題は喫緊の問題であり、移住定住を進めるためには早急に取り組むべき。

町長 現行制度の見直しや補助金の創設なら早急に出来るが、住宅用地の確保等まで考えると相手方がおりスケジュールどおりは難しい、しかし今後場内で議論しておりしっかり進めて参りたい。

民間賃貸住宅確保プロジェクト補助事業実績

令和元年度	12戸
令和2年度	2戸
令和3年度	12戸
令和4年度	2戸
令和6年度	22戸



森永 一美 議員

Q 役場の窓口時間を短縮しては？

A 検討していない

問 行政サービスは私たち町民の暮らしの根幹を支えてくれている。全国的に採用や定着をめぐる環境が厳しくなる中、将来も安定して行政サービスを提供できるよう、積極的な採用や柔軟な働き方の推進、業務効率化が必要では。

町長 令和5・6年度と立て続けに若手・中堅職員の退職がある。職員にとって魅力ある職場をつくっていくかなければならない。今回2名の方に委嘱状を交付し、行政と教育のDX推進に関して無償サポートを受ける。

問 業務効率化として、①電話の録音対応やオートメッセージ化をしては。②役場内の窓口時間を短縮しては。

そもそも勤務時間と窓口時間が同じなのは、残業を前提としている。短縮することで生まれた時間を政策立案に充てられるのでは。

総務課長 ①考えていかなければいけない。



←九州で初めて窓口時間の短縮を行った福岡県古賀市役所の16時過ぎの様子



未来共創アドバイザー（中央2名）

②職員にとつては良いが、町民に理解していただけるか、サービス低下になるかと検討していない。



井野 和哉 議員

Q 有害鳥獣対策、さらなる強化を

A 今後の対策として、4つの重点に取り組む

問 現在、猟友会の会員数と猟銃所持者は。

農林課長 猟友会の会員数は35名で、銃の所持者14名、わなの資格者が30名である。

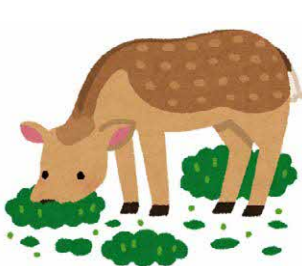
問 令和6年度のイノシシ・シカの捕獲頭数は。

農林課長 令和6年度の捕獲頭数は、イノシシが417頭、シカが203頭である。

問 イノシシにしてもシカにしても、年々捕獲頭数が増加しているようだが、それ以上に増殖しているように思われる。どう対処していくのか。

町長 今後、次の4点を重点対策として取り組んでいく。

- 1点目が、地域ぐるみでの防除体制の強化。
- 2点目が、担い手の確保と育成。
- 3点目が、ICT技術の導入促進。
- 4点目が、中山間地域の整備支援。



猟友会の講習風景



穴井 則之 議員

Q 里山の景観を守るためには

A 景観の維持に危機感をもって取り組む必要がある

問 近年、少子高齢化、農業者の高齢化や担い手不足に加え、温暖化による夏の猛暑等で地域の景観を維持し続ける事が困難になってきているように思えるが、何か対策が必要ではないか。

町長 美しい里山の風景は本町の大切な財産であり、これを次の世代につないでいくためには持続可能な形であることが大切。他の地域の事例を踏まえ、どのような対策ができるのか考えていく。

問 景観の維持には草刈りが大切な要素になるが、歩行型や乗用型の草刈り機の購入補助はできないか。

農林課長 農林課では担い手補助金を設定し、省力化の目標や各計画書の提出、また各条件で補助率の変動はあるが購入補助を行っているところである。

問 景観の維持や草刈りは誰もが同じ目標である。審査は必要だが各条件で差別化するのはなく、同じ補助率で誰もが簡易に申請ができるような仕組みづくりはできないか。

農林課長 条件による補助率の設定は必須と考えている。



草刈り機（ハンマーナイフモア）



草刈り機（ウイングモア）

令和7年 議会日誌

8月	8	中九州・地域高規格道路促進期成会総会
	20	県町村議会正副議長研修会
	28	国道212号改修促進期成会定例総会
	28	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会
	29	議会運営委員会
9月	5	熊日金婚夫婦表彰式
	6	消防団通常点検
	9	総務文教常任委員会
	9～12	第3回定例会
	12	議会広報調査対策特別委員会
	13	J A 阿蘇小国郷畜産共進会
	17	経済建設常任委員会
	19	総務文教常任委員会
10月	27	瀬の本高原マラソン大会
	29	小国公立病院議会
	5	「きよらの郷」防犯少年柔道大会
	9	経済建設常任委員会
	9	県町村議会議員研修会
	9	一般国道442号道路整備促進期成会総会
	10	在熊阿蘇ふるさと会「かたらんネ！阿蘇2025」
	14	議会広報調査対策特別委員会
	14	第2回臨時会
	16	きよら祭り
	21	議会広報調査対策特別委員会
	21	阿蘇市町村議会議員研修会
	23	阿蘇広域行政事務組合議会定例会

菊池郡・阿蘇郡町村議会議長会

井上 則臣

菊池郡と阿蘇郡の町村の振興と発展を図ることを目的に、菊池郡の菊陽町、大津町、阿蘇郡の南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村の各議長で構成されます「菊池郡・阿蘇郡町村議会議長会（略称：菊阿会）」が6月に発足しました。より広域的な連携と情報共有により、地方における様々な課題等の解決へ向けた取り組みが期待されます。



総務文教常任委員会

森永 一美

【市原小学校グラウンドに通学用マット導入】

市原小学校では多くの児童がグラウンドを
通って校舎玄関に入ってます。雨や雪の日
にはグラウンドがぬかるみ、足元が悪くなっ
ていました。現地視察を行い、教育委員会へ要
望を上げておりました。

3月議会で予算計上、8月に工事を行いマット
を敷いていただきました。児童からも「歩きやす
くなって良かった」と喜びの声を聞いています。



正門側から玄関へ続くマット

【高齢者福祉を支える2施設へお米支給決定】

7月に特別養護老人ホーム悠清苑の視察をさせていただきました。施設を見学し、現状を
伺いました。物価は高騰する中、施設利用料は国で定められており価格転嫁もできない状況
であること、特にお米は入手困難な状況で、利用者さんへの食事提供にご苦労されていると
のことでした。

視察後すぐに、支援をいただけるよう町へ要望を上げました。町もすぐに検討いただき、
9月議会にて、食事を提供している老人福祉施設（悠清苑、町社会福祉協議会）へお米の現
物支給が決定しました。

経済建設常任委員会

穴井 秀房

令和7年5月19日付けで提出された「中原川堤防道路の整備（舗装）に関する陳情書」
につきましては、6月議会で経済建設常任委員会に付託されましたので、7月10日に現地
に出向き確認検討を行いました。

陳情箇所は瓜上の県道より中原小学校正門上流に位置する河川道路で、上下流部とも既に
舗装されていること、また住民や児童の通行もあり、委員会におきましては舗装することが
望ましいとして採択することとなりました。



現地視察の様子



現地の状況（小学校側から撮影）

小国郷公立病院組合議会

佐藤 毅

令和7年9月29日に令和7年第2回定例会が開催。令和6年度決算が審議され、認定された。

決算内容を簡略化してご報告します。

病院

医業収益	9億9805万円
医業外収益	3億1112万円
収益計	13億917万円
人件費	9億1570万円
材料費	1億4014万円
経費等	3億2111万円
費用計	13億7695万円

老人保健施設

施設療養収益	2億8437万円
収益計	2億8437万円
人件費	2億5056万円
材料費	1600万円
経費等	8310万円
費用計	3億4966万円

訪問看護

訪問看護収益	2257万円
収益計	2257万円
人件費	2617万円
経費等	251万円
費用計	2868万円

診療所

診療所収益	3545万円
収益計	3545万円
人件費	2671万円
経費等	1670万円
費用計	4341万円

全国町村議会広報研修会

井野 和哉

8月28日に、東京のLINE CUBE SHIBUYAに於いて、令和7年度町村議会広報研修会が行われ、本町より3名の議員が参加しました。

当日は2名の講師の方より、インタビュー記事を活用した広報誌の作り方や、スマートフォンの画像や動画を取り入れるための撮影技術・動画作成の基本の話があり、事例報告として福岡県大刀洗町議会広報より、議会の活性化と連動した広報誌づくりの紹介がありました。

翌日は、日本の政治の中核である永田町にある、坂本・馬場両議員の議員事務所を表敬訪問し、公共交通のあり方やオーバーツーリズムに対する取り組み、害獣対策における国の対応など、地域の課題について意見交換を行いました。



坂本哲志衆議院議員(右から2番目)→

あいか 愛下 ジーンさん

南国から南小国に来て30年。お店誕生16年。
踊って楽しめる場所を作った笑顔のフィリピーナ



プロフィール

フィリピン出身、馬場在住。南小国にダンサーとして来日し、結婚出産を経て4人の母となる。町内で楽しめる場所を作りたいとの思いで「おぼんで〜す」をオープンし、今年11月に16周年を迎える。

…南小国に来られた経緯を教えてください。

6人兄弟ですが、父が早くに亡くなったこともあり、母は夜も寝ずに働いて私達を育ててくれました。母の仕事でダンススタジオを訪れた時、オーナーが「清掃するなら無料でスタジオを使っていよいよ」と言ってくれました。元々ダンスが好きだったので、プールのダンスを見ては学び、掃除して練習する日々を送りました。

有名な歌手のバックダンサーをしていた20歳の時、日本でジャズダンサーを5名募集するというオーディションがありました。日本語は全く話せませんでした。オーディションに行くと、ディズニーランドに行けると思い受けたところ、合格しました。嬉しかったですね。ビザの関係で、日本で半年働いたら帰国し、オーディションに合格したら、また日本に働きに行っていました。4回目の来日先が南小国でした。オーナー達も優しく、楽しく働いていました。スーパーで買い物していた時に、たまたま町



地域活動も積極的に参加。この日は
商工会女性部できよら祭りに出店。

外から来ていたお父さん（ご主人）と
出逢い、スピード結婚しました。

…お店を開業された経緯を教えてください。

南小国に歌って踊って笑顔になれる楽しい場所があるといいなあと思っていました。子育てが落ち着きだした頃、今のお店が空いたので、外で作業をされていたオーナーを見かけて、その場で「こんにちば。お店借りますか？」と聞きました。驚かれたと思います（笑）

熊本地震やコロナもありましたが、お客様でオープン16年を迎えます。今では親子3世代で来られる方もいらつしゃいます。お孫さんに「おじいちゃん元気？」と話した時に、店の歴史ができたんだなあ嬉しくなりました。

…フィリピン人の繋がりを作っていると聞きました。

スーパーで見かけて同郷かな？と思った人にはつい声をかけてしまします。繋がりができ、相談を受けることもあります。日本のルールを教えたり、病院の予約をしたり、ドクターとの通訳をしたこともあります。

南小国で暮らす外国人から共通して出る困り事は、①移動手段がない。②ATMが限られている。の2つです。何か対策ができれば嬉しいですね。町内で母国の料理を持ち寄る会があれば異文化に触れ、知り合いが増えて楽しいのではないかと思います。

取材・撮影・文：森永一美



今期は色々な事が多すぎて参議院選挙にて自民党の敗北、衆参少数与党となり自民党の総裁選のあった中政局も新しい時代を求めているのか？

本町においても9月の定例会は6年度の決算が主な議題でしたが、本年度3月に出された総合基本計画に基づき今後の本町のあり方が実現へと向けて始動して行く時期となつて参りました。大きくはアンケートを基にしたJ A跡地の基本構想の策定・計画・実施それに伴う老朽化した施設の建て替えや移転・災害対策等課題は山積みであり、今後の30年以上の事を考えた取り組みを行う大切な時期になってまいりました。

議会と執行部目指す方向は一つ。チーム南小国となり次世代をなう若者や町民の皆様への付託に答えなければいけない責任をあらためて感じます。

今後も町民の皆様によりわかりやすく読んでいただける広報誌を作っていきたいと思ひます。（北里桂一）

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一